興和株式会社	コルゲンコーワ鎮痛解熱ＬＸα	解熱鎮痛薬

第１類医薬品

医薬品を正しく購入するための

説　明　文　書

使用前には必ず添付文書をお読み下さい。

1	名　称	コルゲンコーワ鎮痛解熱ＬＸα
2	成分・分量	１錠中　ロキソプロフェンナトリウム水和物 68.1mg（無水物として 60mg）／ トラネキサム酸 140.0mg

3 用法・用量

このお薬ののみ方は？

●**用法・用量**
症状があらわれた時、下記の量をなるべく空腹時をさけて水または温湯で服用してください。
服用間隔は４時間以上おいてください。

年　齢	1回量	1日服用回数
成人（15 歳以上）	1錠○	２回まで ただし、再度症状があらわれた場合には３回目を服用できる
15 歳未満の小児	✕服用しないこと	

●**服用する際の注意点**
○用法・用量を厳守してください。
○錠剤の取り出し方：右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。
（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）

4 効能・効果

このお薬の効果は？

○このお薬は、ロキソプロフェンナトリウム水和物(すぐれた効き目の解熱鎮痛成分)とトラネキサム酸（抗炎症成分)を配合した解熱鎮痛薬で、かぜなどの発熱やのどの痛みに速くよく効きます。

効能・効果は以下のとおりです。
●咽喉痛・頭痛・関節痛・筋肉痛・耳痛・神経痛・腰痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛（生理痛）・歯痛・抜歯後の疼痛・外傷痛の鎮痛
●発熱・悪寒時の解熱

5 保健衛生上の危害を防止するために必要な事項

このお薬の服用中に気をつけなければならないことは？

○服用前後は飲酒しないでください。
○**長期連続して服用しないでください。**（3～5日間服用しても痛み等の症状が繰り返される場合には、服用を中止し、医師の診療を受けてください。）
○1～2回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、添付文書を持って医師、歯科医師または薬剤師に相談してください。（他の疾患の可能性も考えられます。）

このお薬を服用する前に、確認すべきことは？

●**このお薬は痛みや熱等の原因になっている「病気」を治療するのではなく、痛みや熱等の「症状」を治療するお薬です。症状があらわれた時のみ服用してください。**
●**次の人は、このお薬を服用することができません。**
○本剤または本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
○本剤または他の解熱鎮痛薬、かぜ薬※を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

※「他の解熱鎮痛薬、かぜ薬」とは、次の成分が含まれているものを指します。
●ロキソプロフェンナトリウム水和物　●イブプロフェン
●アスピリン（アセチルサリチル酸）　●アセトアミノフェン
●アスピリンアルミニウム　●イソプロピルアンチピリン
●エテンザミド　●アルミノプロフェン

○15歳未満の小児。
○医療機関で次の治療を受けている人。
● 胃・十二指腸潰瘍　● 肝臓病　● 腎臓病　● 心臓病
○医師から次のような血液異常（血液の病気）を指摘されている人。
● 赤血球数が少ない（貧血）　● 白血球数が少ない
● 血小板数が少ない（血が止まりにくい、血が出やすい）
○**出産予定日12週以内の妊婦。**
●**このお薬を服用する場合は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。**
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬※、鎮静薬、トラネキサム酸を含有する内服薬
●**次の人は、慎重に服用する必要があります。服用する前に医師、歯科医師または薬剤師に相談してください。**
○医師または歯科医師の治療を受けている人。
○妊婦または妊娠していると思われる人。
○授乳中の人。
○高齢者。
○薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
○次の診断を受けた人。
● 気管支ぜんそく　● 混合性結合組織病
● 潰瘍性大腸炎　● 血栓のある人（脳血栓、心筋梗塞、血栓静脈炎等）および血栓症を起こす恐れのある人
● クローン病
● 全身性エリテマトーデス
○次の病気にかかったことのある人。
● 胃・十二指腸潰瘍　● 肝臓病　● 腎臓病　● 血液の病気

副作用は？

以下の症状があらわれた場合は、直ちに服用を中止し、添付文書を持って医師または薬剤師に相談してください。
●過度の体温低下、虚脱（力が出ない）、四肢冷却（手足が冷たい）等
●消化性潰瘍（胸やけ、胃もたれ、背中の痛み）、むくみ
まれに以下の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。
・消化管出血(血を吐く、吐き気・嘔吐、腹痛、黒いタール状の便、血便等があらわれる)
・消化管穿孔(消化管に穴があくこと。吐き気・嘔吐、激しい腹痛等があらわれる)
・小腸・大腸の狭窄・閉塞（吐き気・嘔吐、腹痛、腹部膨満等があらわれる）

●**特にご注意いただきたい重篤な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重篤な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、直ちに医師の診療を受けてください。**

重篤な副作用	主な自覚症状
ショック（アナフィラキシー）	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等があらわれる。（このような症状は、特に全身性エリテマトーデスまたは混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。）
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
横紋筋融解症	手足・肩・腰等の筋肉が痛む、手足がしびれる、力が入らない、こわばる、全身がだるい、赤褐色尿等があらわれる。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
血液障害	のどの痛み、発熱、全身のだるさ、顔やまぶたのうらが白っぽくなる、出血しやすくなる（歯ぐきの出血、鼻血等）、青あざができる（押しても色が消えない）等があらわれる。
うっ血性心不全	全身のだるさ、動悸、息切れ、胸部の不快感、胸が痛む、めまい、失神等があらわれる。

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並べ替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重篤な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	高熱、発熱、全身のだるさ、全身のむくみ、関節痛（節々が痛む）、力が入らない
頭部	意識の混濁、首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、めまい
顔面	顔が白っぽくなる、出血しやすくなる（鼻血）
眼	目の充血、目やに、黄疸（白目が黄色くなる）、まぶたのうらが白っぽくなる
口や喉	声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、唇のただれ、のどの痛み、吐き気・嘔吐、空せき、息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、出血しやすくなる（歯ぐきの出血）
胸部	息苦しさ、動悸、階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、息切れ、胸部の不快感、胸が痛む
腹部	食欲不振
手・足	手足がしびれる、こわばる
皮膚	皮膚のかゆみ、じんましん、皮膚の広範囲の発疹・発赤、発疹、黄疸（皮膚が黄色くなる）、青あざができる（押しても色が消えない）
筋肉	手足・肩・腰等の筋肉が痛む
便	下痢
尿	褐色尿、尿量の減少、赤褐色尿
その他	失神

また、次のような症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、添付文書を持って医師または薬剤師に相談してください。

関係部位	症状
消化器	胸やけ、腹痛、口内炎、胃部不快感、腹部膨満感、消化不良
精神神経系	頭痛、しびれ、眠気
循環器	血圧上昇
泌尿器	血尿
その他	顔のほてり、貧血

●**次のような症状の持続または増強が見られた場合には、服用を中止し、添付文書を持って医師または薬剤師に相談してください。**
口のかわき、便秘、下痢

このお薬の形は？

色	重さ
微赤色	280mg

このお薬に含まれているのは？

（１錠中）

有効成分・分量	ロキソプロフェンナトリウム水和物……68.1mg(無水物として60mg) トラネキサム酸 ……140.0mg
添加物	セルロース、無水ケイ酸、ヒドロキシプロピルセルロース、クロスポビドン、ステアリン酸Ｍg、ヒプロメロース、マクロゴール、二酸化ケイ素、酸化チタン、三二酸化鉄、カルナウバロウ

		このお薬の保管方法は？ ○高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。 ○小児の手の届かない所に保管してください。 ○他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わります。） ○PTPのアルミ箔が破れたり、中身の錠剤が破損したりしないように、保管および携帯に注意してください。 ○使用期限をすぎた製品は服用しないでください。 **服薬適性セルフチェックシート** ■**以下の項目に該当する人は服用できません。** □本剤または本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人 □本剤または他の解熱鎮痛薬、かぜ薬※を服用してぜんそくを起こしたことがある人 ※「他の解熱鎮痛薬、かぜ薬」は、P.1「このお薬を服用する前に、確認すべきことは？」をご参照ください □15 歳未満の小児 □医療機関で次の治療を受けている人 胃・十二指腸潰瘍、肝臓病、腎臓病、心臓病 □医師から次のような血液異常（血液の病気）を指摘されている人 赤血球数が少ない（貧血）、血小板数が少ない（血が止まりにくい、血が出やすい）、白血球数が少ない等 □**出産予定日12週以内の妊婦** □次のいずれかの医薬品を服用している人 他の解熱鎮痛薬、かぜ薬※、鎮静薬、トラネキサム酸を含有する内服薬 **上記に該当しない場合** ■**以下の項目に 1 つでも該当した人は、本剤の服用に際して注意が必要です。** **服用する前に医師、歯科医師または薬剤師に相談してください。** □医師または歯科医師の治療を受けている人 □妊婦または妊娠していると思われる人 □授乳中の人 □高齢者 □薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人 □次の診断を受けた人 気管支ぜんそく、潰瘍性大腸炎、クローン病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病、血栓のある人（脳血栓、心筋梗塞、血栓静脈炎等）および血栓症を起こす恐れのある人 □次の病気にかかったことのある人 胃・十二指腸潰瘍、肝臓病、腎臓病、血液の病気 **服用時には、以下の点にも注意してください。** □服用前後の飲酒はしないでください □**長期連続して服用しないでください** □服用後、特に以下の症状が見られたら、直ちに服用を中止し、添付文書を持って医師または薬剤師に相談してください ●過度の体温低下、虚脱（力が出ない）、四肢冷却（手足が冷たい）等 ●消化性潰瘍（胸やけ、胃もたれ、背中の痛み）、むくみ **このお薬は、薬剤師から説明を受け、添付文書をよく読んで服用してください。** **このお薬についてのお問い合わせ先は？** ●**このお薬についてのご相談またはお問い合わせは、お買い求めのお店または下記までお願いします。** 興和株式会社　医薬事業部　お客様相談センター 〒103−8433　東京都中央区日本橋本町三丁目4−14 TEL：03−3279−7755　FAX：03−3279−7566 電話受付時間：月～金（祝日を除く）9：00～17：00
6	薬剤師が 必要と 判断する事項	

〔注意事項〕

1．本紙の内容は、お客様が医薬品を購入･選択時に役立たせるために必要な情報です。

2．法令により、要指導医薬品は必ず、第１類医薬品は薬剤師が不要と判断した場合を除いて、情報提供を行います。

3．服用後、体調に変化等があった場合（副作用など）には服用を中止し、すぐに購入された店舗または薬剤師にご相談下さい。